



社協

YOKOSHIBA HIKARI

よこしばひかり

第8号

2008.12.1発行

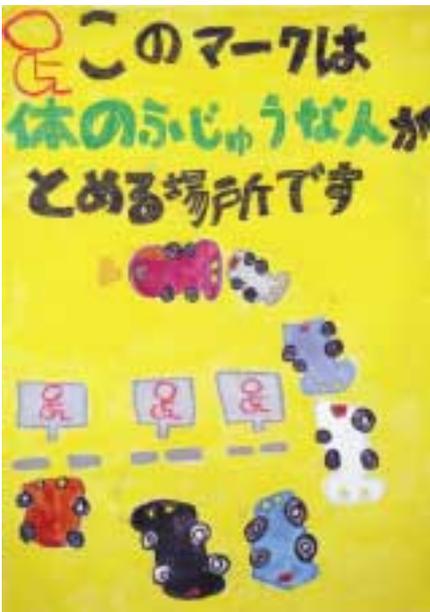


日吉小学校 2年

土屋 政人

ポスター

特選



ポスター 特選

大総小学校 3年

五木田 葉月



標語 特選

大総小学校 6年

吉川 智朗



声かけよう
となりの人も
家族です

入賞作品一挙に紹介!

社会福祉協議会では、「ふれあいと支え合いの精神に満ちた豊かな福祉のまちづくり」を進めるため、福祉教育の一環として町内小・中学校児童・生徒から標語・作文・ポスターを募集したところ、総数522点の作品が寄せられました。

応募いただいた作品の中から、各部門別に特選・入選・佳作の入賞作品が決定しました。

作文 特選

東陽小学校 6年

水野 拓海



『障害を持った人たち』

「聖マーガレットホーム」身体障害者療護施設。つまり、障害を持った人達が生活する施設のことです。ぼくは、あることをきっかけにこの施設に体験学習として参加することになりました。

初めて行く施設であるため、行く前からとても緊張していました。中に入ると、不思議な人がぼくの

次にぼくたちは施設の人達の作業をお手伝いすることになりました。

缶をつぶす作業をする事になったぼくは、足で缶をつぶしていました。すると、車いすに乗ってぼくと同じ作業をしていた人は、手で缶をつぶす機械を使って作業をしていました。手で缶をつぶそうとしていた人は、缶がなかなかつぶれずとても大変そうでした。障害を持った人は、ぼくらには当たり前のように思えることも難しかったり、できなかったり日々とても苦労しているのだと強く感じました。

しかし、マーガレットホームの人たちはいつも笑顔でいっぱいでした。もし、今のぼくが障害を持つてここにいたとしたら同じように笑顔ではいられないような気がします。障害を持った人々は自分の障害にしっかりと向き合い、力強く生きているのだと改めて思いました。

そして、昼食の時間には、みんな楽しく笑顔で会話をしたり、食事をしたりしていました。ここにいる人たちは同じ「障害」というものを持ち、互いにその大変さを理解しているからこそ分かり合えるのだと思いました。

こうした体験をおして、障害を持った人達の強さや温かさなどを強く感じ、自分が今何ができるのか真剣に考えてみました。

まずは、学校でも取り組んでいるプルタブや募金活動などに積極的に参加し、身近なところからできることをしていきたいです。

そして、何よりも障害を持っていてもみんな同じなんだということとを多くの人に伝えたいです。

世の中には、障害者にとって生活しにくいことがまだまだたくさんあります。今回の施設見学をとおして、自分が感じたことや学んだことをみんなにもわかってもらえるよう広めていきたいです。そして、誰もが住みやすい社会を目指していきたいです。



標語 入選

南条小学校 5年

飯田大和

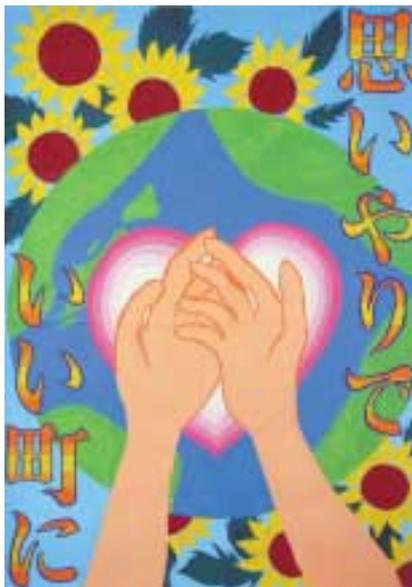


助け合う
ぼくの手 きみの手
みんなの手

ポスター 入選

横芝中学校 2年

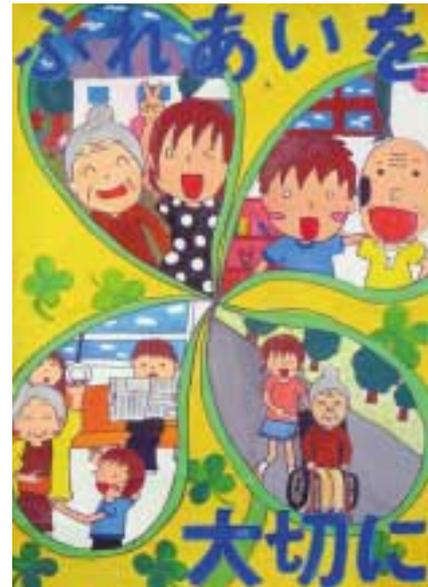
青野 舞



ポスター 入選

上堺小学校 6年

青野 瞳



作文 入選

横芝小学校 4年

小林 由花



『いつでも
「こんにちは。」』

「こんにちは。」
みなさんは、あいさつを
しますか。私は毎日のように
します。

先日、家族で筑波山に登った
ことです。私達が山頂をめざし
て山道を登っていると下ってくる
誰もが、

「こんにちは。」
と、言ってくれました。私達も
の都度

「こんにちは。」
と、返しました。どの人も疲れて
いるはずなのにっこり笑顔であ
いさつしてくれるのです。そし
て、今度は私から

「こんにちは。」
と、声をかけるようにしました。不思議です。「こんにちは。」と声をかけられた時は、『頑張ってる、はげまされたような気持ちでした。』
そして、自分からあいさつすると、『お互い頑張りましょうね。』と、言えたようで、元気が出てきました。あいさつの後、「頑張ってる、登るの速いね。」と、話しかけてくれる人もいました。私達は、たくさんあいさつにはげまされて、無事山頂まで登ることができました。

なるような気がします。自分もうれしくなるし、相手にも優しい気持ちや元気をあげられます。
また、話すきっかけになることもあります。あいさつなんて当たり前のようにだけけど、知っている人も、全然知らない人も、あいさつを交わせば、心がやさしくなっていく。思いやりの気持ちが広がっていくでしょう。相手のことを、自分のことを分かり合おうとするでしょう。誰もが安全で安心、そして平和な社会を願っている今、私達があいさつをはじめ、続け、広げれば、明るい地域、明るい町、明るい日本に、明るい世界になっていくはずですよ。今、出来ること、誰でもできること、それが『あいさつ』なのです。一言、
「こんにちは。」
それが社会を明るくしていく第一歩です。



標語 入選

上堺小学校 4年

早川 未那



まってます
ぬくもりかんじる
やさしい手

作文 入選

横芝中学校 1年

土屋 ひかる



『明るい未来を
目指して』

私達は支援や介助を必要とする人達に、周りの人が協力しあって、理解を深めていくことが大切だと思います。もちろん、軽蔑や迷惑という意見はもつてのほかです。電車マナーもその内に入ると思います。小さい子供やお年寄りには席をゆずるといふのは基本中の基本。というより、当たり前のことですよ。なので私は、電車で空席があっても、少ない場合は座りません。
他には、コンビニで、数十円程度おつりは寄付することが多いです。私の実践していることは、小さな事ばかりですが、少しでも誰

かのために役立つていれば嬉しく
思います。

体の不自由な人、高齢者などの
役に立てることはないか、学校の
委員会、もちろん全校でも、呼び
かけたり、話し合ったりしてもい
いんじゃないかと日頃から思っ
ています。募金など、常に学校のど
こかに募金箱を設定しておくのも
悪くないと思います。

また、これはあくまで意見です
が、ビジネスや会社運営よりも、
一人一人がボランティア精神を持
った方が社会のためにはいいと思
います。日本国憲法第二十五条に
記されている、「健康で文化的な
最低限度の生活を営む権利（生存
権）」というものもあります。

ですが、今の日本の介護制度は
崩壊の危機に瀕しています。低賃
金にヘルパーが苦しんで、離職者
が続出しているのです。中小では
経営が成り立たず、事業主が自ら
の給与を削ってしのいでいるとい
った例も少なくない。やはり、
「理想だけではやっていけない。」
というのが現実だ。対策を考えて
はいるようですが、結果ははまだ
出ていません。

食べられる食品は捨てずに生か

す。「当たり前」と思えるフードバ
ンクと呼ばれる活動が注目されて
いる。まだ食べられるのに完璧で
ない、市場性がないからと捨てら
れていた食品を食品会社などから
寄付してもらい、それがあれば助
かるという人たちに無償で届ける。
もちろん賞味期限が切れていない。
安全に食べられる食品である。企
業の社会貢献の新しい形としても、
今後益々関心を集めそうです。

小学6年生の時に肥満だった子
供はメタボリックシンドロームに
なるリスクが高いことが明らか
になりました。男性は約3倍、女性
で約10倍と女性のリスクが特に高
いことが初めて判明した。実は、
この内容は福祉機構によるアンケ
ート調査です。福祉活動を職業と
する方々の働きにより、私達の生
活環境を再チェックできるという
ことにちがいはありません。

このように、一人一人が細かい
ところに気を遣い、ボランティア
を心がけることにより、だんだん
自然に明るい未来がきりひらける
と思います。なので、「これからも、
ボランティア精神を忘れず、周り
と協力しあっていきたいと思いま
す。

ポスター 入選



横芝中学校 2年

渡辺純乃



標語 佳作



光中学校 3年

市川いづみ



東陽小学校 6年

山本黎菜

標語 佳作

ポスター 佳作



白浜小学校 4年

伊藤舞



光中学校 2年

平野智仁

作文 佳作



ポスター
佳作

上堺小学校 5年

齋藤有加



ポスター
佳作

横芝小学校 6年

柴田海帆



ポスター
佳作

横芝小学校 2年

小久江純平

ど存じですか?



こんなときどうしたらいいの?どこに相談すればいいの?法律的には?些細なことだけど、誰かに聞いてほしい。

そんな時には心配ごと相談所へ!

一般相談

開設日 毎月第2・第4火曜日
午後1時30分から4時
場所 第2火曜日 文化会館
第4火曜日 町民会館



法律相談(弁護士相談) ※要予約

開設日 毎月第1・第3火曜日
午後1時30分から4時 (1組30分)
場所 第1火曜日 文化会館
第3火曜日 町民会館

相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

問合せ・予約 社会福祉協議会 ☎80-3611

ボランティアルームを開設

ボランティア連絡協議会では、様々な活動をする方々の交流や、福祉のまちづくりの増進を図るため、ボランティアルームを開設しています。情報の受発信などの拠点としてご利用ください。

開設日時 毎月第4金曜日
午後1時30分~4時
場所 社会福祉協議会事務所内会議室
問合せ 社会福祉協議会 ☎80-3611



聞いてみませんか?

声の広報

声のボランティア「ぼいす」では、町の広報をカセットテープに吹き込み希望者にお届けしています。その他、図書館や文化会館など公共施設、東陽・上町郵便局にも置いてあります。

「広報を読むのはちょっと大変…」という方、ご利用してみたいはいかがですか。

利用希望・問合せ
社会福祉協議会 ☎80-3611

ホームページ開設!!

福祉情報の受信、社会福祉協議会の理解の場としてご利用ください。

横芝光町社協

<http://www.yokoshibahikarishakyo.jp/>

※バナー広告も募集中です。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

共同募金会横芝光町分会では、10月1日から12月31日までの間、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金運動を実施しています。これらの募金は、子どもやお年寄り障害者のために使われています。ご理解をいただき、ご協力をお願いします。



お年寄りのために



障害者のために



子ども達のために

全国健康福祉祭

「ねりんぴっく」参加

60歳以上の高齢者を中心とした、健康増進や社会参加・生きがいつくりの推進を目的として開催されるこの大会が、10月24日から4日間にわたり鹿児島県で開催されました。

今回、千葉県老人クラブ代表として、古川在住の石田孝氏が、将棋（団体）で出場し全国64チームの中でベスト16の優秀な成績をおさめました。



長寿を祝う敬老会

秋晴れの日 600名の参加により開催

9月15日(月)敬老の日、光中学校体育館において開催され、町長・社会福祉協議会長をはじめ、来賓の方々より長寿を祝う言葉が贈られました。式典終了後の演芸の部では、マジックショーや漫才で驚きや笑いの連続！そして、オヨネーズによる歌謡ショーが始まると、手拍子をしながらお馴染みの曲「麦畑」を一緒に唄い和やかな雰囲気となりました。

また、今年度は各地区社会福祉協議会の方々に、送迎バスの運行や乗車場所等の安全確認等にご協力をいただきました。



地域のふれあい活動

区民のふれあい

○本町分会

「グラウンドゴルフ大会」

6月14日(土)ふれあい坂田池公園陸上競技場で、本町区民の親睦・融和と健康増進を目的に開催されました。

この大会は町内対抗戦で、選手は町内会長・70歳以上の高齢者・小学生各2名を加えた15名編成で競技しました。各町内からは、応援の方々も多数参加し、ホールインワンなどが出ると歓声が上がるとなにより楽しい一日を過ごしました。



初めて開催！

○東町分会「高齢者ふれあい食事会」

10月17日(金)仲間と連れ添って参加した75歳以上のお年寄り33名、初めてにしては沢山の方が参加してくださいました。

今回は、民生委員を中心に食生活改善推進委員の協力でご飯等をメインに次々と料理が並び、健康管理課職員による講話や帝京平成大学看護学生による健康体操など行った後、「いただきます」のあいさつで、しばし手づくりの味に舌鼓を打ち食事を楽しみました。その後は、三味線やカラオケ・ビンゴ大会で盛り上がり、時間の経つのも忘れるほどでした。



ちらし寿司のお味は？

○大総地区

「大総地区福祉のつどい」

7月18日(金)町文化会館で、114名の参加者のもと開催されました。当日は、地区社協役員による手作りのちらし寿司がふるまわれ、皆さん口々に「おいしい」と言っていました。

ボランティアによるカラオケや舞踊が披露され大盛況に終わりました。



暑さになんて負けないぞ！

○横芝地区「ふれあいグラウンドゴルフ大会」

7月12日(出)横芝地区の小学生から高齢者まで幅広い年代の方々がグラウンドゴルフを楽しみながら親睦を図り、地域の絆を深めることを目的に毎年開催されています。今年はじりじりと太陽が照り返す中、水分補給をしながら頑張りました。



(地区社協の巻3)

日吉・南条・東陽・白浜地区社会福祉協議会合同開催事業

生き生きスポーツ大会

10月23日(木)日吉小学校及び日吉保育園の協力のもと252名の参加者によって開催され、和やかの中にも各地区優勝を狙う真剣さが感じられ白熱した大会となりました。

今年で2回目となるこの大会、日吉小学校児童による鼓笛演奏での入場行進や手を取り合っでの競技に真剣な眼差しで参加する皆さん、しかし、日吉保育園児によるお遊戯披露では、ニコニコ笑顔に変わり「かわいいねー」「上手だよ」という掛け声と拍手が!! 途中雨が降ってしまい、1種目競技を残したまま閉会となってしまいましたが、参加した皆さんは、まるで童心に返ったように楽しい一時を過ごされました。



「福祉推進」のため 活用します

6 / 25 6 / 24 6 / 6 5 / 15 4 / 16 4 / 1 3 / 26 3 / 10

滝川秀樹様 さくら会様 カラオケ 匿名名 匿名名 匿名名 匿名名 匿名名

11 / 13 10 / 22 10 / 15 10 / 14 7 / 25 7 / 11

大総ゴルフ倶楽部様 検察実行委員会様 横芝敬愛高校 横芝光分会様 千葉土建 匿名名 匿名名 ルアナ・フラ様

社会福祉協議会へ次の方々から
ご寄付がありました

9月7日(日)町で防災訓練が行われ日赤奉仕団も活動を紹介するコーナーを設けて、災害用移動炊飯器を使用した炊き出しや災害時に役立つ新聞紙の活用方法等を紹介しました。

非常時の炊き出し方法の紹介では、熱に強いポリ袋(ハイゼックス)を使用した炊飯の仕方、熱心に耳を傾ける方や新聞紙の活用方法では、実際にスリッパの折り方を実演しました。

こうした活動を通じて、赤十字奉仕団の活動が広く町民の皆さんに認識されるように頑張っています。



日赤奉仕団活動報告
防災訓練に参加

地域活動支援センター

たんぽぽです

横芝光町地域活動支援センター TEL 82-0343

10月25日(土)に幕張メッセで「2008年の花アビリンピックin千葉」が開催されました。全国から集まった選手たちの技能の競争をたんぽぽ全員で見学してきました。それぞれの選手たちの白熱ぶりを見て自分たちももっとがんばらないと…と話していました。

また、体験コーナーもあり用紙の3つ折りや封入の作業では競技者に負けじとやる気満々で丁寧にかつスピーディに取り組み、とても良い刺激をうけてきました。特に就労を考えている方はそれぞれの課題を見つけてその課題を改善できるように今以上にがんばろうと熱い思いで張り切っています。



アビリンピックとは？

障害のある方が日頃職場で培った技能をお互いに競い合う全国大会です。競技内容は、パソコン操作・家具・木工・清掃・事務・縫製など23種類の職種をそれぞれの場所で決められた時間内で取り組むという内容です。



先日、とても親切な2つの会社の方から新しい仕事をしませんか？という嬉しい話をいただきました。その時にちょうど仕事がなくなってしまい、色々な会社にTELをして仕事を探し、断られ続けていた時期だったため、お話がきた時には、本当にありがたかったand仕事をくれた方が神様に見えました(笑)

たんぽぽに救いの手をさしのべてくれて本当にありがとうございます。

図々しいですが、これからもたくさんお仕事くださあ〜い

職場実習させていただける事業所がございましたらぜひご連絡ください。